



放射線リスクコミュニケーション 相談員支援センターだより



『CREVA おおくま』に 行ってきました

○『CREVA（クレバ） おおくま』とは

福島県双葉郡大熊町に2025年3月15日にオープンした大熊町産業交流施設で、東日本大震災と福島第一原子力発電所事故からの復興の象徴となる拠点として誕生しました。今後の生活環境の向上や町の玄関口のにぎわい創出が期待されています。

愛称の「CREVA（クレバ）」とは、CREATE（創造する）とVALUE（価値）を合わせた造語で、復興への道をよりいっそう力強く進むために大熊町の新たなシンボルとして「町民みんなが誇りを持って真の価値を創造していく」という願いが込められています。また声に出した時に「来ればおおくま」という響きを持って対外、対内ともに大熊町に来てねというアピールも兼ねているそうです。



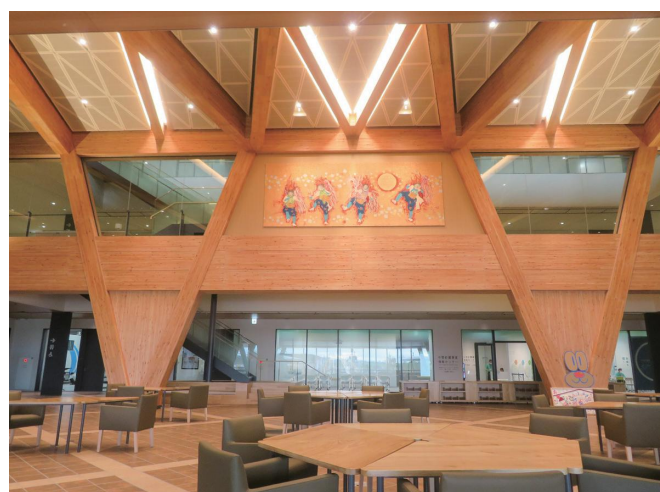
『CREVA おおくま』の外観

○施設のご紹介

1階は貸会議室はじめ、どなたでも打合せや休憩に利用できる多目的ホール（CREVA HALL）、日本原子力研究開発機構（JAEA）の「ANALYSIS LAB.」や、中間貯蔵・環境安全事業（株）（JESCO）の「中間貯蔵事業情報センター」といった情報発信施設があります。2階は企業の事務所、コワーキングスペースや貸会議室、3階には大熊町を一望できる CREVA VIEW TERRACE、ラウンジ等があり、館内全体に共用スペースが豊富に設けられており、自由に出入りして利用できるよう工夫がされています。

○実際に見学してみても

入館すると、まず高い天井と福島県産の材木がふんだんに使用された開放的な設計に思わず息を飲みました。そして、そのパーツをじっくり眺めてみると、天井近くには歴史を感じる展示物があり、それが過去にあった町の郷土芸能をモチーフにした緞帳（どんちょう）を修復して展示されていると分かりました。真新しい施設の中に歴史を感じる展示品が見事に調和された建造物であることを知り、改めてその眺めに圧倒されました。



「CREVA HALL」から吹き抜け部分を見上げた様子

他のフロアに足を運ぶと、開放されたスペースのソファやデスク等も一つ一つ選び抜かれたものが設置され、グリーン（観葉植物）が目にも優しく、幅広い年齢層の来訪者の滞在時間が快適になる配慮がされている印象を受けました。また、壁面には震災前後の町の様子がよくわかる貴重な写真が展示されています。



2F コワーキングスペース



3F「CREVA VIEW TERRACE」からの眺め

〇おわりに

震災前、大野駅前には商店街があり、町の賑わいの中心地だった場所です。この施設の建設目的の一つは、かつての大野駅前の賑わいを取り戻すことであり、加えて新しい何かを生み出す場として町民の皆さま等の期待が込められています。

今後も様々なイベントが企画され、それらは継続性があり、企業と町の関係性をも築けるような願いを込めた視点で考えられています。イベントをきっかけに、地域住民の皆さまはもちろん、町外からも多くの方が訪問されることにより、賑わいが生まれ、新しい流れができることが期待されています。

また、隣地には「クマ SUN テラス」（大熊町大野駅西商業施設）も完成し、日常の気分転換ができる地域

の憩いの場が生まれ、大野駅周辺は大きく変わってきます。新しい歩みをスタートさせたばかりのこのエリアに、皆さまも足を運ばれてみてはいかがでしょうか。

放射線リスクコミュニケーション 相談員支援センターホームページ をリニューアルしました

放射線リスクセンターでは、私たちの活動内容を紹介するほか、支援を必要とされている方を対象にホームページから情報をお届けしています。

この度、利用される皆さまの視点に立ち、操作性に配慮して必要な情報にアクセスしやすく、今まで以上に分かりやすくお伝えするため、デザインと内容を大幅にリニューアルしました。

URL : <https://www.env.go.jp/chemi/rhm/shientcenter/>

QRコードからもアクセスできます→



自治体職員や相談員の皆さま以外にも福島県内外にお住まいの方、福島県に移住・訪問を検討されている方向けの内容も充実しています。



階層型の案内バーを設置して、必要な情報へスムーズに到達できるようになりました。



支援の内容をカテゴリー別に分け、イラストを使用することで視覚的にイメージしやすいコンテンツ構成にしました。横軸に各支援内容を配置し、選択すると具体的な説明を閲覧できます。



「イベントの開催」では、最新の研修会、見学会等の開催情報が見やすくなり、過去のイベントも一覧でご覧いただけます。文章では説明に時間がかかる内容、情報等が視覚的・直観的に伝わりやすくなった点も改善のポイントです。

さらに、放射線相談に関する支援ツールのバナーが見やすい位置に配置され、必要な情報に迷わずたどり着けるようになりました。



「地域における活動」という項目を新たに追加しました。そこでは、県内にお住まいの方、お勤めの方、移住や訪問を検討されている方、また県外に避難されている方等を対象としていた支援活動も掲載し、多くの皆さまにご覧いただけるようになりました。



「質問・相談への対応」では、放射線リスクコミュニケーションセンターに寄せられた放射線等に関するご質問・ご相談をアーカイブとして掲載しております。

ご覧いただく全ての人にとって役立つ情報が提供できるよう、更新しています。

放射線リスクコミュニケーションセンターでは、これからもホームページを通して最新の情報をお届けします。



放射線リスコミセンター 令和7年度チラシのご案内

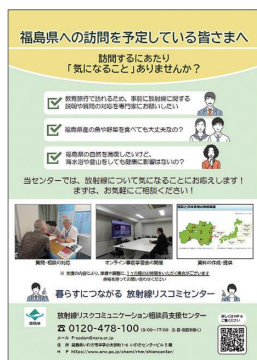
放射線リスコミセンターの令和7年度チラシが完成しました。当センター全体のご案内に加え、車座意見交換会・福島県来訪予定者向けのご案内を作成しました。



放射線リスコミセンターのご案内



車座意見交換会のご案内



福島県への来訪予定者向けのご案内

様々な支援内容の中から皆さまの実情やお悩みに合わせて企画・ご提案いたします。放射線に関するご相談、不安等がありましたら、当センターにお気軽にご連絡ください。

メールマガジン 「放射線リスコミセンター通信」 のご案内

放射線リスコミセンターでは、自治体職員や相談員等の皆さまの活動に役立つ情報や最新の福島状況等を共有するため、メールマガジン「放射線リスコミセンター通信（以下、リスコミ通信）」を通じた広報活動を行っています。

リスコミ通信では、自治体職員や相談員等の皆さまに活用してほしい当センターの活動内容や、住民の放射線に関する健康不安等への対応及び放射線に関連した生活上の様々な課題への対応に役立つ情報に加え、福島県にある震災関連施設や研究施設等が開催する様々なイベント等に関する情報を定期的に配信しています。

メールマガジンの配信をご希望の方は、下記連絡先に、必要事項と併せてご連絡ください。また、現在メールマガジンをお読みの皆さまからの情報もお待ちしております。

【連絡先】

放射線リスクコミュニケーション相談員支援センター
電話：0246-35-5150

メール：F-sodan@nsra.or.jp

【必要事項】

- お名前
- 所属・役職等
- 電話番号
- メールアドレス

放射線リスクコミュニケーション

相談員支援センターだより No. 45

発行：放射線リスクコミュニケーション相談員支援センター

連絡先：〒970-8026 いわき市平字小太郎町1-6

いわきセンタービル5階

フリーダイヤル：0120-478-100

FAX：0246-35-5158

E-mail：F-sodan@nsra.or.jp

